

2年修士学位プログラム

夜間/土曜 開講講座 | 港区六本木

国際的指導力育成プログラム

Global Leadership Development (GLD) Program



政策研究大学院大学
NATIONAL GRADUATE INSTITUTE
FOR POLICY STUDIES

Photo : Masao Nishikawa

プログラム紹介 1

組織や国のブランドに依存しない人材の育成

激動する世界のなかで、日本が非欧米社会で唯一の先進経済大国として特別待遇を受ける時代は終わりました。日本の政府職員であるから、有力企業の職員であるからというだけで一目おいてもらえることはありません。こうした世界のなかでは、情勢やトレンドを正確に理解し、的確な対応をとることのできる、構想力、指導力、コミュニケーション能力を兼ね備えた人材が必要になります。そして、そうした人材が各組織の総合力と結びつくことによって、日本と世界を変える力が発揮されることになります。

求められる「真の外交力」

多様化・専門化する国際社会で、リーダーシップを発揮する「真の外交力」が必要とされるのは外務省だけではありません。今では、すべての中央省庁、関係機関、地方自治体が何らかの形で世界とつながり、「真の外交力」の必要性を感じています。民間企業は、「地政学リスク」を的確に判断しつつ、関係企業、各国政府、国際機関、さらにはNGOと交渉し、協力関係を築くことのできる人材を必要としています。メディアは、国際情勢を日本に伝えるだけでなく、独自の分析や切り口を提示し、世界に発信することのできる人材を求めています。

「国際的指導力育成プログラム」とは？

「国際的指導力育成プログラム」は、「真の外交力」をもつ人材育成のための修士プログラムであり、募集対象は、政府、公共機関、民間企業などの幹部候補職員です。修学年限は2年で、夜間と土曜日に開講される科目の単位を取得し、特定の課題についての研究論文の審査に合格することで、修士号を取得することができます。従って、仕事を続けながらの就学、学位取得が可能です。講義のほとんどは日本語で行いますが、演習の一部と学位論文の執筆は英語で実施します。英語で議論したり、論文を執筆したりする能力を高めるための講義や演習もプログラムに組み込まれています。

組織や国のブランドに依存しない 国際交渉を率いる人材

必要とされる力	学術的理論に裏付けられた《真の外交力》			
	世界各地の地域情勢の把握	日本と世界の近代史への理解	国際関係研究手法の習得	戦略論の基礎の習得
	国際法、国際経済、安全保障等に関する様々な知識		英語による交渉力の習得	学術的分析能力の習得
講義内容	学術的理論武装（アカデミック科目） 国際経済 / 国際法 / 地政学リスク / 安全保障 / 外交戦略			
	プロフェッショナルスキル（実践科目） 国際関係・外交シミュレーション / 国際交渉 / 交渉と発信のための英語			
対象者	すべての国・地方の政策担当者	すべての民間企業職員	すべてのメディア従事者	

在学学生コメント



北川 典さん
(外務省)

本プログラムでは、経験豊かな講師陣と学生の距離が非常に近く、幅広いバックグラウンドをもつ仲間たちとの活発な議論や実地に即したシミュレーションを通じて、論理的・実践的な学びが深められます。社会人でも受講しやすい講義日程に加え、論文・研究等へのサポート体制も充実しており、日本と海外の教育の良いところを兼ね備えたハイブリッドな環境で、知的刺激を得ながら広い視野を身につけられることが魅力です。



赤平 大寿さん
(JETRO 日本貿易振興機構)

本プログラムでは、1つの事象を複数の講義で扱うなど、講義の間に連関があります。そのため、アカデミックな視点のみならず、政策的視点も踏まえて深く理解することができます。近年、外交、安全保障、経済、通商などの境目が見えにくくなるなど複雑さが増している国際関係を、「自分の言葉」で語れるための視座がつまっているカリキュラムであると実感しています。

プログラム紹介 2

授業科目(夜間・土曜開講のもの)

- | | | |
|----------------|-----------|--|
| ■ 外交アカデミー 1～4 | ■ 国際経済交渉論 | ■ 国際関係の理論と研究方法演習 |
| ■ 国際関係の理論と研究方法 | ■ 外交戦略論 | ■ 国際関係・外交シミュレーション |
| ■ 国際法 | ■ 外交交渉論 | ■ Principles of Effective Communication |
| ■ 経済政策分析 | ■ 安全保障論 | ■ Effective Communication for Global Leaders |

外交アカデミー

「外交アカデミー」は、国際交渉や国際会議で活躍する高度な国際交渉能力と洗練されたコミュニケーション能力を持つ人材を育成するため、2015年からGRIPSのシンクタンクである政策研究院が開講している国家公務員・政府機関職員向けのプログラムです。外交アカデミーでは、著名なスピーチライターである谷口智彦氏ら、国際経験の豊富な実務家、学識経験者が講師として高度で実践的な講義を行っています。

「国際的指導力育成プログラム」の学生は、「外交アカデミー」を受講することで、学位取得に必要な単位の一部を得ることができます。

プログラム担当教員



田中 明彦 政策研究大学院大学学長

学位：マサチューセッツ工科大学政治学部大学院(Ph.D.) 専門分野：国際政治学
 主な経歴：東京大学東洋文化研究所所長、東京大学理事・副学長、国際協力機構(JICA)理事長等
 担当講義：国際関係の理論と研究方法、国際関係の理論と研究方法演習



カテリーナ・ペチコ 政策研究大学院大学教授

学位：テンブル大学(Ed.D.) 専門分野：教育学、言語教育
 主な経歴：上智大学経済学部非常勤講師
 担当講義：Principles of Effective Communication, Effective Communication for Global Leaders



マシュー・ブルーマ 政策研究大学院大学講師

学位：東京大学(博士号)、コロンビア大学(Master of International Affairs) 専門分野：科学技術イノベーション政策・外交
 主な経歴：経済産業省英語スピーチライター、The Economistアナリスト
 担当講義：国際関係の理論と研究方法演習

このほか、岩間陽子教授(国際政治、欧州安全保障)、大野健一教授(開発経済学、産業政策論)、川崎研一教授(経済モデル分析)、高木佑輔准教授(東南アジア地域研究、政治学)、道下徳成副学長・教授(安全保障論)をはじめとする本学教員による講義を受講することも可能です。

講義を担当するスペシャリスト



兼原 信克 政策研究大学院大学客員教授

主な経歴：1981年に東大法学部を卒業し、外務省に入省。外務省国際法局長を経て、2012年に内閣官房副長官補に就任。2014年より新設の国家安全保障局次長を兼務。2019年に退官。著書に『歴史の教訓―「失敗の本質」と国家戦略』(新潮社、2020年)、『戦略外交原論』(日本経済新聞出版、2011年)がある。

このほか、鶴岡公二(前駐英大使、元TPP首席交渉官)、篠田邦彦(本学教授、前経済産業省通商交渉官)、田村暁彦(経済産業省審議官)、廣中雅之(元航空自衛隊空将)をはじめとする実務経験者が実践的な講義を担当します。

プログラム概要

学位 修士(政策研究)
授業言語 日本語・英語(学位論文は英語)
標準修業年限 2年(4月入学)
募集人員 10名程度
選抜方法 書類審査及び面接
学費 検定料30,000円、入学金282,000円、授業料535,800円(年間)
開講時間帯 夜間/土曜
場所 港区六本木 大江戸線六本木駅より徒歩5分/千代田線乃木坂駅
より徒歩6分/日比谷線六本木駅より徒歩10分

出願から就学までのスケジュール(2021年 4月入学)

出願締め切り
2020年10月9日~16日(第1回)、2021年1月4日~8日(第2回)
第1次審査(書類選考)合格発表
2020年11月4日(第1回)、2021年2月1日(第2回)
第2次審査(面接試験)
2020年11月12日、又は13日(第1回)、
2021年2月9日、又は10日(第2回)
就学開始 2021年4月

政策研究大学院大学(GRIPS)の特色

国際的な研究・教育環境

キャンパスは東京都心・六本木に位置し、全学生の約3分の2が留学生という極めて国際的な環境です。英語による科目の履修を通じて、世界各国の政府部門で働くミッドキャリアである留学生達との政策議論に挑戦してください。また、交流イベント等を通じた学生間の国際交流も積極的に支援しています。このような環境を通じて、修了後のキャリアにおいても貴重な財産となる人的ネットワークを構築してください。



充実した英語サポート

本学に設置されたプロフェッショナル・コミュニケーションセンター(CPC)では、大学院教育に求められる高度なアカデミック英語だけでなく、GRIPS修了後に、プロフェッショナルとして国際的な現場で生かすことのできる実践的な英語のトレーニングなど、英語に関するあらゆるサポートを行っています。

プロフェッショナルとして求められる会話、プレゼンテーション、議論、文書作成等に関する英語力を身につけるためのワークショップ、英語で行われる講義を履修したい日本人学生向けのLanguage Support Program for Japanese Students、英語学習の教材の閲覧や、学生同士のコミュニケーションの場として自由に使用できるコミュニケーションラウンジなど、充実したサポート環境を最大限に活用してください。



■お問い合わせ先

国立大学法人 政策研究大学院大学
アドミッションズ・オフィス

〒106-8677 東京都港区六本木 7-22-1 Tel : 03-6439-6046 Fax : 03-6439-6050

Email : admissions@grips.ac.jp

